

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
1.福祉教育の推進	社会福祉協議会と連携して、市民ニーズや地域課題に対応した福祉分野の講座メニュー（現在67講座、うち福祉分野3講座）を企画し、出前講座の充実を図ります。	出前講座の受付窓口、講座一覧冊子の作成・配布を行いました。 市：13講座、社協：6講座のメニューを企画しています。	全庁	福祉に関する出前講座のメニュー数	3	13	19	19	8
	公民館講座や出前講座の利用促進により、住民の福祉に対する意識の向上を図ります。	糸島市出前講座及び公民館講座を開催しました。 出前講座（福祉関係）：市 26回（890人） 社協 7回（188人）	生涯学習課						
	ボランティアによる学校への指導者派遣事業の充実を図り、年1回のボランティア派遣事業報告会を開催します。	571回、1,786人のボランティア指導者派遣を実施しました。 8月にボランティア入門研修会、3月に活動報告会を実施しました。	生涯学習課						
	学校・社会福祉協議会・福祉施設・公民館等と連携し、福祉教育の充実を図ります。	社会福祉協議会・福祉施設等と連携し、体験学習を実施しました。 （学校教育課） 学校、社会福祉協議会と連携した公民館活動を実施しました。 （生涯学習課）	福祉支援課 学校教育課 生涯学習課						
	小学校高学年を対象とした「ふくし体験スクール」を実施します。	小学5・6年生を対象に8月3日、4日に開催しました。（65人） 手話学習会、「災害の模擬体験」場所：福岡市民防災センター、補助犬体験などを行いました。	社会福祉協議会	福祉に関する出前講座の開催数	9	44	52	33	20
	学校での車椅子・アイマスク等の体験学習指導を行います。	南風小、前原小（2回）、志摩中、東風小（2回）、可也小、一貴山小、雷山小へ職員を派遣し、車椅子・アイマスク等の体験学習指導を行いました。	社会福祉協議会						
	小・中学生の健康福祉センターやデイサービスセンターへの見学を受け入れます。	デイサービスでの職場体験の受け入れ 前原東中、前原西中	社会福祉協議会						
	小学生を対象とした「福祉教育読本とともに生きる」を配布します。	市内15小学校の小学3年生へ（1,028冊）配布しました。 小学5年生へ（939冊）配布しました。	社会福祉協議会						
	市・学校その他関係機関と連携し、ボランティア講座、福祉講座などの学習機会やボランティア活動体験の機会を提供します。	ボランティア・福祉祭り（4月24日）に高校生(糸島、舞鶴)22人がボランティアとして参加しました。	社会福祉協議会	学校における福祉教育の取り組み状況等調査	0	0	1	0	26
	学校における福祉教育の取り組み状況等を調査し、福祉教育プログラムを作成します。	「人と人とのつながりや関わり」「他者への思いやりと関心」をボランティアの視点で描かれたアニメ(紙芝居風)による学習と、実際の障がい疑似体験を交えた福祉教育プログラムを行いました。また、新たなプログラムとして車いすの当事者による話も行いました。	社会福祉協議会						
	学校と連携し、福祉教育の指導経験を共有するための福祉教育指導者研修会を開催します。	第7回糸島市人権・同和教育研究大会の分科会で市社協の地域担当職員と車いす利用の職員で講演を行いました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
2.福祉ボランティアの育成・支援	ボランティア、NPO等との連携と協働を進めます。	こらば糸島でボランティアやNPO活動に関係する講座・研修会を年4回実施しました。 登録団体は228団体（H29年2月28日現在）（地域振興課） こらば糸島の運営委員会にボランティア派遣事務局が参画し、情報共有・連携を図りました。（生涯学習課）	地域振興課 生涯学習課	福祉ボランティア 養成講座の開催数	年4回 程度	年7回	年7回	年7回	年6回 程度
	各種助成金制度等の支援情報の収集と発信をします。	把握している各種助成金制度等については、ホームページ等を通して登録団体に情報提供を行いました。（地域振興課） 各種助成金制度の支援情報の収集を行いました。（生涯学習課）	地域振興課 生涯学習課						
	広報紙やホームページによるボランティア情報の発信とボランティアへの市民参加を推進します。	こらば糸島のホームページやこらば通信（年4回発行）で、ボランティア情報の発信を行いました。また、3月10日にボランティアフェアを開催し、各ボランティア・NPOの活動発表を行う機会を設置しました。（地域振興課） ボランティア派遣事業、ドリームトレイサー事業、いとしま天文台事業において広報掲載、イベント出展などのボランティアの新規募集を積極的に行いました。（生涯学習課）	地域振興課 生涯学習課						
	ボランティア団体を把握している機関（市、社会福祉協議会、ボランティア派遣事業運営委員会等）のボランティア情報を一元化し、ボランティアの支援を行います。	糸島市NPO・ボランティアセンター運営委員会を年4回実施し、委員には生涯学習課やボランティア派遣事務局、社会福祉協議会の職員もあり、情報を共有できる体制を作っています。（地域振興課） こらば糸島の運営委員会にボランティア派遣事務局が参画し、情報共有・連携を図りました。（生涯学習課）	地域振興課 生涯学習課						
	糸島市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会と連携し、社会福祉の推進に努めます。	糸島市社協ボランティア連絡協議会（32団体480人）と一体となって、会員対象の講座・視察研修や市民対象のボランティア講座を企画し、ボランティア活動の充実を図りました。	社会福祉協議会						
	糸島わいわいフェスタ（ボランティア福祉まつり）を開催します。	テーマ「Good Action×手をつなぐ仲間とともに輪になあれ！」として、4月24日に開催しました。2,000人程度の参加がありました。	社会福祉協議会						
	多様なボランティア・市民活動の活性化を支援する環境整備を進めます。	介護・高齢者支援課から委託された生活支援体制整備事業で、地域ささえあいサポーター養成講座（49人修了）、地域ささえあい推進員養成講座（33人修了）を開催しました。（内サポーター登録者 45人）	社会福祉協議会						
	広報紙やホームページによりボランティア情報を発信します。	糸島市社会福祉協議会HPで、ボランティア情報を発信し適宜更新しました。また市のNPO・ボランティアセンターHPともリンクしています。	社会福祉協議会						
	次世代リーダーや未経験者の参加の機会を増やすため、ボランティア団体との協働で講座の企画運営を行い、開催します。	高齢者部会企画/認知症について 今津日赤病院高野氏の講演（59人参加）、セラピューティックケアボランティア養成講座（35人参加） 障がい者部会企画/大牟田市ボラ連・障がい者就労自立支援センターたんぼぼ視察見学（37人参加）、糸島福祉機器展“フクテク”（500人参加） 子ども部会企画/発達障害について 北九州市立大学 税田氏（21人参加）、 「きてみて知って！糸島の子育て事情」 はまだ内科クリニック濱田氏の講演、関係団体紹介リレーなど（77人参加） 回想法ボランティア養成講座2日間（延べ66人参加）	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
3.地域交流の促進	地域行事について、広報紙やホームページ等で周知に努めます。	地域行事について、広報いとしまやホームページで情報提供しました。 生涯学習情報誌の発行・配布を行いました。	全庁	地域行事に参加している人の割合	60.0%	調査 未実施	調査 未実施	64.8%	70.0%
	市民満足度調査等を活用し、市民交流の状況を把握します。	5月に市民モニターアンケートを実施しました。	福祉支援課						
	校区社会福祉協議会を支援します。	15校区社協に運営費と見守り活動費を助成しました。 校区社協会長・事務局長会議を開催しました。（年2回） 校区社協事務局長会議を開催しました。（年1回） 各校区での学習会へ講師派遣や視察研修の調整・同行などを行いました。	社会福祉協議会						
	小地域ネットワーク福祉会を支援します。	18行政区の福祉会に運営費を助成しました。 福祉会代表者会議を開催しました。（年2回）	社会福祉協議会						
	地域行事への備品（おもちゃ・レクリエーション道具等）の貸し出しを行います。	レクリエーション用具を103件貸し出しました。（サロン） おもちゃを12件貸し出しました。（赤ちゃんサロン等）	社会福祉協議会						
	地域行事の際のバリアフリーの相談支援を行います。	車椅子の貸し出しを年間104件実施しました。 （地域行事では、サロン活動（1件）、シニアクラブの旅行（1件）、学校行事（2件）に貸し出しを行いました。）	社会福祉協議会						
	健康福祉センターを小・中学校の児童・生徒と高齢者との交流の場として提供します。	デイサービスの高齢者との交流を行いました。（年5回）延べ150人	社会福祉協議会						
4.人権啓発の推進	糸島市同和問題啓発強調月間街頭啓発及び中央講演会を開催します。	糸島市同和問題啓発強調月間（7月） 街頭啓発実施 7月1日 朝（4駅）、夕（4カ所）（啓発物計1,720個配布） 中央講演会開催 7月9日 人権センター大会議室（参加者197人）	人権・男女共同参画推進課	研修などを実施している行政区の割合	65.4%	70.4%	70.4%	71.2%	75.3%
	糸島市人権週間街頭啓発活動を行います。	人権週間（12月4日～10日） 街頭啓発実施 12月2日 朝（4駅）（啓発物計980個配布）	人権・男女共同参画推進課						
	糸島市人権・同和教育研究大会を開催します。	糸島市人権・同和教育研究大会 8月27日開催 午前 特別講座・分科会 市内5カ所で開催（参加者674人） 午後 全体会・講演 人権センター（参加者702人）	人権・男女共同参画推進課						
	糸島市人権・同和教育研究大会に参画します。	第7回糸島市人権・同和教育研究大会に参画しました。	社会福祉協議会						
	人権学習研修会を開催します。	人権学習会を3月23日、29日に開催しました。（参加者194人）	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
5.民生委員・児童委員への支援	民生委員児童委員協議会へ補助金を交付し、活動を支援します。	補助金を交付し、活動を支援しました。	福祉支援課	民生委員の認知度	40.3%	調査 未実施	調査 未実施	52.9%	60.0%
	民生委員の活動に関して、広報紙やホームページ等で周知に努めます。	広報いとしま及びホームページ及びフェイスブックで周知しました。	福祉支援課						
	民生委員の相談窓口として活動を支援します。	民生委員からの相談に応じ適宜支援しました。	福祉支援課						
	民生委員児童委員活動強化週間中に街頭啓発・普及活動を実施します。	強化週間に合わせて、広報いとしま及びフェイスブック(5月)にて活動の周知を行いました。	福祉支援課						
	民生委員児童委員協議会の事務局として、活動を支援します。	役員会 年6回 偶数月第1週の金曜日 前原地区 年12回 毎月 第3週の水曜日 二丈地区 年12回 毎月 第3週の木曜日 志摩地区 年12回 毎月 第3週の水曜日 (前原地区運営委員会年3回、他専門部会合同会議年1回) 上記以外に高齢者福祉部会・障がい者福祉部会・児童福祉部会を各地区に設置、各部会の視察研修や学習交流会の調整・同行、個別相談・支援など多岐にわたる支援を行いました。	社会福祉協議会						
	民生委員の活動に関して、住民へ広報を行います。	市内の駅・スーパーなど23カ所で、民生委員児童委員と協働し街頭啓発のティッシュ配布活動に取り組みました。(配布数9,200個)	社会福祉協議会						
	民生委員の合同研修会を開催し、活動を強化します。	各地区定例会で計18回の学習会を開催しました。 「自分が選んだ人生を！ただ今、中卒10代に伴走中」をテーマに、全員研修会を年1回開催しました。講師 一般社団法人ストリート・プロジェクト代表 坪井恵子氏 氏(143人参加)	社会福祉協議会						
	民生委員と福祉委員の情報交換の場を設定します。	8校区の社協で民生委員と福祉委員の情報交換の場を設けています。	社会福祉協議会						
	民生委員・児童委員活動強化週間中に街頭啓発・普及活動を実施します。	市内の駅・スーパーなど23カ所で、民生委員児童委員と協働し街頭啓発のティッシュ配布活動に取り組みました。(配布数9,200個)	社会福祉協議会						
6.福祉委員への支援	福祉委員研修会に必要な情報を提供します。	地域包括ケアシステムについて情報提供しました。	福祉支援課	福祉委員の設置	154 行政区	161 行政区	162 行政区	162 行政区	163 行政区
	福祉委員の活動に関して、広報紙やホームページ等で周知に努めます。	広報いとしまにて活動の周知を行いました。	福祉支援課						
	福祉委員の役割を明確に示せる「福祉委員活動マニュアル」(仮称)を作成します。	福祉委員の活動マニュアルを福祉委員をはじめ、推薦依頼をする行政区長に配布しました。	社会福祉協議会						
	校区ごとの福祉委員研修会及び民生委員との意見交換会の開催を積極的に促し、支援します。	校区社協会長局長会議で、民生委員と福祉委員との意見交換会など情報共有することを推奨する説明を行いました。	社会福祉協議会						
	福祉委員の活動に関して、住民へ広報を行います。	15校区社協だより(年3回～6回発行)で、校区の福祉委員(162行政区173人を委嘱する)を紹介しました。また、市社協広報紙でも紹介しました。	社会福祉協議会						
	福祉委員研修会を各校区ごとに開催します。	人権センターで全体研修会を開催(年1回)しました。 8校区で学習会を行いました。	社会福祉協議会						
	福祉委員校区代表者会議を開催します。	福祉委員校区代表者会議(4月15日)を開催しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
7.校区社会福祉協議会の組織強化	「糸島市あんしん見守り推進会議」の中で、見守り活動についての情報提供、情報共有を行います。	各地域ケア会議において、市・地域包括支援センター・社会福祉協議会・民生委員等が見守り活動についての情報提供、情報共有を図りました。	介護・高齢者支援課	地域サポーター養成講座	0	0	0	全市で2回開催	モデル2校区
	社会福祉協議会と連携して、校区社会福祉協議会の運営及び活動支援に努めます。	社会福祉協議会を通じて補助金の交付を行い、活動の支援を行いました。	福祉支援課						
	校区社会福祉協議会を含め、地域活動を支える“地域サポーター（ボランティア）”の養成に取り組みます。	地域包括支援センター主催によるボランティア養成講座へ職員派遣などの協力を行いました。 生活支援体制整備事業で地域ささえあいサポーター養成講座と地域ささえあい推進員養成講座を実施しました。	社会福祉協議会						
	市と連携して、校区社会福祉協議会の運営及び活動支援に努めます。	15校区社協に運営費と見守り活動費を助成しました。 校区社協会長・事務局長会議を開催しました。（年2回） 校区社協事務局長会議を開催しました。（年1回） 各校区での学習会へ講師派遣や視察研修の調整・同行などを行いました。	社会福祉協議会						
	地域の住民が校区社会福祉協議会の活動を理解するよう、広報・啓発活動の強化に取り組みます。	15校区社協だより（年3回～6回発行）を発行しました。 市社協の広報紙、HPへの掲載を行いました。	社会福祉協議会						
	災害時要援護者支援台帳の整備、避難誘導時の対応、見守り体制のあり方について研修等を開催し、地域防災意識の向上に取り組みます。	1,192人の新規訪問調査の依頼を校区社協に行いました。 校区社協代表者会での説明、各地区民生委員児童委員協議会での説明のほか、依頼があった校区学習会で説明を行いました。	社会福祉協議会						
8.小地域ネットワーク福祉会の設置・推進	社会福祉協議会と協力し、研修等に必要な情報提供などの支援を行います。	情報提供依頼がありませんでした。	福祉支援課	福祉会の設置（行政区単位）	19行政区	19行政区	19行政区	19行政区	30行政区
	行政区での見守り、支え合いの仕組みづくりを推進し、福祉会などの組織化を積極的に支援します。	18行政区の福祉会に運営費の助成を行いました。 福祉会代表者会議を開催（年2回）：内1回は、将来的な助成の仕組みなど意見交換をしました。モデル助成金の2年間交付として決定しました。 一つ廃止したほか、まだ申請されていないが、師吉行政区で組長を入れた見守り隊を結成し、同意された一人暮らし高齢者の見守り訪問（月1回）をスタートさせた。	社会福祉協議会						
	見守り活動者向けの研修を開催し、福祉の情報提供を行います。	11回（南風校区、雷山校区、波多江校区、長糸校区、神在3区福祉会、可也校区、東風校区、東風支部同教、新任民生委員研修、師吉行政区、福祉委員研修）開催しました。	社会福祉協議会						
9.ひとり暮らし高齢者等見守り活動の強化	「糸島市あんしん見守り推進会議」において、見守り活動についての方針や計画等の検討を行います。	各地域ケア会議において、市・地域包括支援センター・社会福祉協議会・民生委員等が地域課題の検討を行いました。	介護・高齢者支援課	地域の見守り活動を支援する事業所数	44	47	協定書締結事業所46 協力事業所19 計65	協定書締結事業所57 協力事業所7 計64	55
	市、地域包括支援センター、社会福祉協議会が一体となり、高齢者等の地域生活上の福祉問題を一元的に受け付け、専門機関の連携を図ります。	主として地域包括支援センター及び市が窓口となり、高齢者等の地域生活上の福祉問題を受け付け、必要に応じて専門機関と連携を図りました。	介護・高齢者支援課						
	校区社会福祉協議会や小地域ネットワーク福祉会において、地域に応じたひとり暮らし高齢者等の見守り活動を推進し、見守りの体制づくりを支援します。	一人暮らし高齢者見守り対象者数2,700人（H28年4月1日現在） 校区社協や小地域ネットワーク福祉会で、見守り活動を実施しました。	社会福祉協議会						
	住民の一人ひとりが近所のひとり暮らし高齢者等の見守りを意識するような啓発、広報活動を行います。	市社協広報紙、校区社協広報紙で啓発をしました。講師派遣の際は、市地域福祉計画・活動計画ダイジェスト版を配布し、説明を行いました。	社会福祉協議会						
	見守り活動をする人を対象とした研修を開催し、福祉の情報提供を行います。	11回（南風校区、雷山校区、波多江校区、長糸校区、神在3区福祉会、可也校区、東風校区、東風支部同教、新任民生委員研修、師吉行政区、福祉委員研修）開催しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
10.ふれあい生きいきサロンの活性化	社会福祉協議会とサロン運営についての協議を定期的に行い、運営状況を検証し、活動・運営の支援を行います。	社会福祉協議会との協議：5回 高齢者の通いの場についての調査を実施し、結果分析及び課題抽出を行い、サロン運営、立ち上げ支援に関する見直しを行いました。	健康づくり課	サロン設置数	115	119	125	125	128
	広報紙等において、活発に活動しているサロンやサロンボランティア団体を紹介するなど、サロン活動の周知や啓発を行います。	ふれあい生きいきサロン活動紹介冊子をサロン代表者会議や全体区長会等で配付し、サロン活動の周知や啓発を行いました。	健康づくり課						
	サロンの相談窓口として、設置の推進を図ります。	1カ所が廃止され、1カ所新規の立ち上げを支援し、125ヶ所となりました。 サロン活動紹介冊子では、サロン代表者、民生委員会、福祉会、区長会、サロン立ち上げ相談等の機会に配布しました。また、健康づくり課と協働で15校区の通いの場について、シニアクラブと民生委員にアンケート調査を実施・集約し分析を行いました。	社会福祉協議会						
	サロン代表者会議を開催し、サロン活動・運営の支援を行います。	前原・二丈・志摩地区で開催（延べ265人参加） 介護予防教室/糸島歯科医師会 原口公子氏（計131人参加） 活動報告、活動申請説明会（計134人参加）	社会福祉協議会						
	サロン支援ボランティアを育成します。	サロンボランティア 8団体 派遣回数249回 活動者延べ885人 サロンボランティア代表者会議 年2回（延14人参加） サロンでの介護予防/山之内孝治氏（58人参加） 高齢者の口腔ケア/糸島歯科医師会 原口公子氏（83人参加） 新規にサロンで映画上映をするボランティア募集と説明会を開催し、ボランティアグループ「銀幕」を立ち上げました。（10人参加 内5人で設立）	社会福祉協議会						
	レクリエーションの道具の貸し出しや職員の派遣を行います。	レクリエーション用具を103件貸し出しました。 25サロンへ職員を派遣しました。	社会福祉協議会						
11.糸島市シニアクラブ連合会の活性化	高齢者が生きがいを持ち、健康で楽しく生活できるよう、シニアクラブに財政的・人的支援を行うとともに、シニアクラブが抱える課題の解決に一緒に取り組みます。	シニアクラブ連合会の事業を支援し、組織を強化することを目的として、助成金の交付を行いました。また、単位シニアクラブのシニアクラブ連合会加入についても支援を行いました。	介護・高齢者支援課	単位クラブ数	112 クラブ	104 クラブ	101 クラブ	102 クラブ	122 クラブ
	「健康・友愛・奉仕」の精神に基づく活動促進、若手高齢者の加入促進、組織の充実など、シニアクラブ活動が活性化されるよう支援します。	高齢者の生きがいづくりや健康づくりを支援することを目的として、サークル活動補助金を新設し、74サークル（会員数合計1,409人）を対象に補助金を交付しました。	介護・高齢者支援課						
	シニアクラブリーダーの育成について、支援を行います。	単位クラブ新任会長研修を始め、高齢者相互支援リーダー研修会、理事研修会、女性リーダー研修会など、助成金の活用を促し、積極的な参加を支援しました。	介護・高齢者支援課						
	糸島市シニアクラブ連合会の支援及び活動助成を行います。	糸島市シニアクラブ連合会の活動助成及び支援として、グラウンドゴルフ大会・ベタング大会（218人参加）を開催しました。	社会福祉協議会	会員数	6,487 人	5,932 人	5,736 人	5,676 人	6,800 人
	シニアクラブとの連携を図り、高齢者の見守り等を積極的に推進します。	高齢者、障がい者施設へのタオル配布の協力を行いました。 生活支援体制整備事業の研究会にシニアクラブも参画していただき、高齢者の見守り活動や生活支援について意見を聞きました。（年5回開催）	社会福祉協議会						
12.自主防災組織の強化	自主防災組織が実施する防災訓練・防災講座への消防職員等の派遣、訓練運営のサポートや、防災に関する知識の普及・啓発を行います。	142の自主防災組織で防災訓練等を実施しました。	危機管理課	防災訓練の実施 組織数・実施回数	109の 自主防 災組織 で防災 訓練等 を実施	111の 自主防 災組織 で防災 訓練等 を実施	122の自 主防災組 織で防災 訓練等 を実施	142の自 主防災組 織で防災 訓練等 を実施	全ての自 主防災組 織で年1 回以上防 災訓練等 を実施
	ボランティア団体への支援を進めます。	糸島防災士会がてまがえたいへ活動助成を行いました。（てまがえ隊は、H28年度福岡県防災賞を受賞）	社会福祉協議会						
	災害時要援護者支援台帳を活用し、避難誘導時の対応、日頃からの見守り体制のあり方について研修等を開催するなど、地域防災意識の向上に取り組みます。	校区社協代表者会での説明、各地区民生委員児童委員協議会での説明のほか、依頼があった校区学習会で説明しました。	社会福祉協議会						
	災害時要援護者への支援体制づくりを支援します。	災害時要援護者支援の取り組みでは、6,731人（H29年3月末現在）の避難支援情報をネットワーク支援台帳へ登録しています。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
13.地域包括支援センター運営の充実	地域包括支援センターの組織体制の充実を図ります。	地域包括支援センターを5か所に増設し、各々に主任ケアマネージャー・保健師・社会福祉士の三職種を配置しました。	介護・高齢者支援課	相談件数	延べ 8,526 件 (年)	延べ 11,678 件 (年)	延べ 19,605 件(年)	延べ 19,856 件(年)	延べ 13,000 件(年)
	地域のさまざまな組織や人材との連携を強化して、包括的にサポートしていく体制を確立します。	個別課題を検討する地域ケア会議184回/年開催し、425件の事例検討を行いました。(会議1回あたり平均2.3件)	介護・高齢者支援課						
	広報紙等において、地域包括支援センターの業務や役割について周知します。	広報いとしまに地域包括支援センターの連絡先を毎月掲載しました。また、各センターの独自広報紙を4回/年発行し配付しました。	介護・高齢者支援課						
	サロンや校区社会福祉協議会学習会・研修会等、幅広い住民への周知の場を提供します。	サロンや校区社会福祉協議会学習会・研修会などで周知の場を提供しました。	社会福祉協議会	予防給付	888件 (利用月平均)	973件 (利用月平均)	1,030件 (利用月平均)	1,035件 (利用月平均)	1,100件 (利用月平均)
	業務に必要な知識・技術の習得を目的とした研修や講演会等に積極的に参加します。	認定調査新任研修、高齢者虐待研修、包括支援センター基礎研修、高齢者虐待防止権利擁護研修、生活支援コーディネーター養成研修、地域ケア会議に関する研修会、苦情解決従事者研修会、養護者による高齢者虐待対応現任者研修、介護予防支援従事者研修、地域包括支援センター職員課題別研修、介護予防マネジメント研修、消費者被害救済制度研修、調査員研修、福岡県在宅医療・介護連携推進研修会、地域包括ケア研修	社会福祉協議会						
14.障がい者相談支援センター運営の充実	障がい福祉サービスの充実を図ります。	市が委託している糸島市障がい者相談支援センターや市窓口での相談を受け、サービス調整を行いました。	福祉支援課	相談支援事業所の拡充	1力所	3力所	3力所	3力所	3力所
	広報紙等において、障がい者相談支援センターの業務や役割について周知します。	広報3月1日号、ホームページ、障害福祉のしおり等で相談支援センターの業務や役割について周知を行いました。その結果、相談実件数が3,185件で、H27年度と比べて約1.3倍に増加しました。	福祉支援課						
	各種機関と連携・協働する「自立支援協議会」の運営強化を行います。	より専門的な見地から具体的議論を深めるため、相談支援専門部会と児童専門部会の設置の承認を自立支援協議会で得ました。(H29年度から活動予定)精神専門部会では、糸島保健福祉事務所主催の社会復帰促進会議と共同で2回、単独で4回の計6回開催し、精神障害に特化した地域課題について解決策を検討しました。	福祉支援課						
	相談支援事業所の拡充を行います。	H28年度から相談支援研究会を月1回開催しました。各事業所の相談支援専門員との情報や課題の共有を行い、専門部会設置に向けた協議を行いました。	福祉支援課						
	民生委員や福祉委員等の福祉関係者、また、サロンや校区社会福祉協議会学習会・研修会等で幅広い地域住民への周知活動を行います。	H26年度から障がい者相談支援センターが3ヵ所へ拡大され、パンフレットを作成し、住民への周知を図りました。また、民生委員などとも連携して相談支援を行いました。	社会福祉協議会						
	業務に必要な知識・技術の習得を目的とした研修や講演会等に職員を積極的に派遣します。	県や関係機関が開催する研修会へ積極的に職員を派遣しました。(年7回)	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
15.障がい者の就労推進	ハローワーク及び障がい者就業・生活支援センターなどと連携し、企業・事業所等の障がい者雇用を促進します。	障がい者雇用支援専門員が面接同行などを行い、就労へ繋げました。 また、就労中の障がい者が継続できるように、関係機関の紹介やジョブコーチの手配などを行いました。	福祉支援課	障がい者雇用受け入れ事業所数	45社	54社	63社	71社	65社
	障がい者雇用促進セミナーの関連や企業・事業所向けの情報紙を発行します。	2月に障がい者就労支援セミナーを行い、学校関係・保護者・事業所など35名の参加がありました。 障がい者雇用通信を年1回、3月に461社に送付しました。 改正障害者雇用促進法の内容や実習受入れのお願い、障がい者雇用の事例紹介などを掲載しました。	福祉支援課						
	障がい者就労の場を提供する作業所や企業・事業所の安定的な運営を支援します。	市内の障がい者就労関連の事業所に呼びかけ、会議を年2回開催し情報提供や情報交換を行いました。	福祉支援課						
	福祉施設による職業訓練や一般就労への移行支援に協力します。	障がい者就労支援セミナーにおいて事業所のパンフレットやチラシを配布し、事業所からは映像や資料を用いたPRをしていただきました。	福祉支援課						
	障がい者に対する理解を深める啓発活動を行います。	企業30社に電話での問い合わせや訪問をしました。障がい者雇用の状況把握を行うとともに、障害特性などに合わせた具体的な指示方法などを紹介し、障がい者雇用のイメージを深めていただきました。	福祉支援課						
	就労前後にわたって相談を受け、障がい者の就労活動を支援します。	就労希望者の面接準備・面接同行・就労継続支援及び施設外就労や実習の説明を延べ270人に行いました。	福祉支援課						
	障がい者相談支援センターと連携し、ハローワーク及び障がい者就業・生活支援センターなどへつなぎます。	就労移行支援事業所と連携して、福祉サービスから一般就労へ移行できるよう支援に努めました。また、福祉支援課の障害者雇用支援専門員と連携し、一般就労へ繋ぎました。	社会福祉協議会						
16.家庭児童相談室の体制整備・充実	家庭児童相談室を開設し、子育てや家庭における児童養育に係るさまざまな相談（養育不安、児童虐待、子どもの障がい・問題行動及び生活苦等）に対応します。	正職員3名、嘱託員2名を配置しました。 要保護児童対策協議会代表者会議（5月16日）を開催しました。（年1回） ネットワーク会議を開催しました。（年47回） 個別ケース会議を開催しました。（年152回） 相談件数総数 3,700件	子ども課	要保護児童ネットワーク会議の開催回数	53回	48回	47回	46回	53回
	相談窓口の周知を行います。	糸島市ホームページや広報に相談窓口の連絡先を掲載しました。 虐待については、児童虐待予防月間に合わせ広報いとしまに掲載、リーフレットの窓口設置や関係機関・行政区等にポスターの配布を行いました。	子ども課						
	家庭相談技術向上のため研修会へ積極的に参加します。	各種研修参加回数 23回 （家庭児童相談研修、市町村児童相談関係職員研修、DV支援にかかる研修等）	子ども課	個別ケース会議実施回数	68回	105回	132回	152回	60回以上
	民生委員や福祉委員等の福祉関係者、また、サロンや校区社会福祉協議会学習会・研修会等で幅広い地域住民への周知活動を行います。	地域の学習会・研修会等での見守り活動についての派遣講座の中で、家庭児童に関する相談の窓口は子ども課・家庭児童相談室と表記し、説明しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
17.子育て支援センター運営の充実	各地域の子育て支援拠点に担当者を配置し、子育て支援事業を全市的に展開します。	正規職員3名、嘱託員2名、臨時スタッフ1～2名を配置しました。 前原地区 すくすく 月～土 8:30～17:00 二丈地区 にこにこ 火～土 10:00～15:00 志摩地区 ぽかぽか 火～土 10:00～15:00	子ども課	常設子育て支援センター数	1施設	1施設	3施設	3施設	3施設
	子育て広場や子育て教室、家庭訪問・出前講座などの支援事業を推進します。	子育て広場 736回開催 延べ17,466人利用 子育て教室 250回開催 延べ 6,796人利用 こんにちは赤ちゃん訪問 673人訪問 育児支援家庭訪問 39件訪問 でんでん事業 3回	子ども課						
	子育て情報の収集や発信、ボランティアスタッフなどの育成を行い、地域での自主的な子育て支援をサポートします。	子育て応援ブックの配布 1,200部発行 健康カレンダーでの情報発信 全世帯 子育て支援情報ういず 毎月発行 ホームページ掲載 毎月更新 情報メール発信 毎月発信	子ども課						
	育児支援に関するボランティア育成のための入門講座を開催します。	未実施	子ども課						
	ボランティアセンターに登録されている子育て支援ボランティアへの支援を行います。	ボランティアの実施場所として、子育て支援センターを提供しました。 ボランティア数：28人	子ども課						
	誰もが利用しやすい開催日程への変更等を検討します。	にこにこ・ぽかぽかの開催を週5日で実施しました。	子ども課						
	子育て支援団体を育成・支援します。	子育てネットワークういず加入団体（42団体）の交流会を3回開催しました。	子ども課						
	民生委員や福祉委員等の福祉関係者、また、サロンや校区社会福祉協議会学習会・研修会等で幅広い地域住民への周知活動を行います。	地域の学習会・研修会等での見守り活動についての派遣講座の中で、子育てに関する相談の窓口は子ども課・支援センターと表記し、説明しました。 子育て支援センターの行事について、定例会等やチラシ配布など周知しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
18.権利擁護の推進	家庭裁判所及び弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門・関係団体との連携協力支援体制・ネットワークを構築します。	家事関係機関（家庭裁判所・各市町村・社会福祉協議会の権利擁護事務担当者）との連絡協議会に参加し、関係機関との連携及び協力体制等の確認を行いました。	福祉支援課 介護・高齢者支援課	市民後見人研修 開催	0回	0回	0回	1回	1回
	地域の後見ニーズ等の実態を把握するとともに、必要に応じた市民後見人研修の開催や組織体制の整備に努めます。	NPO法人による無料法律相談会を年3回開催しました。 成年後見制度市民講座（9月24日）を実施し、72名が受講しました。	介護・高齢者支援課						
	市民向け普及啓発を行います。	障がい者に対する後見制度の普及啓発を目的として、2月に病院関係者、障がい者入所施設、通所事業所等、障がい者の支援者を対象とした成年後見研修を開催しました。 ホームページに成年後見制度について掲載、広報と市窓口設置のチラシで市民向けの無料法律相談会について掲載し、普及啓発を行いました。	福祉支援課 介護・高齢者支援課						
	地域包括支援センターの権利擁護業務等の体制を強化します。	日常生活圏域毎に5か所の地域包括支援センターを設置し、各々に三職種（主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師）を置き権利擁護業務等を実施している。また、県が開催する成年後見制度の研修会に参加し、権利擁護業務等の強化を行いました。	介護・高齢者支援課						
	日常生活自立支援事業、福祉あんしんサービス事業を実施します。	福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス（県社協事業） 利用件数23件 内訳/高齢者12件 障がい者11件（知的障がい、精神） 書類等預かりサービス事業（県社協事業） 利用件数12件 内訳/高齢者5件 障がい者7件（知的障がい、精神） 安心あずかりサービス事業（市社協事業、年契約） 利用件数8件 内訳/高齢者6件（認知症）障がい者2件（知的障がい、精神）	社会福祉協議会						
	成年後見制度や日常生活自立支援事業についての情報を発信し、市民への周知と利用促進を図ります。	社協HPの掲載、地域包括支援センターや障がい相談支援センターにチラシ等情報提供し、市民周知の促進に努めました。	社会福祉協議会						
	生活支援員の専門性を高めるために積極的に研修に参加させる他、職員の体制整備に努めます。	市主催の成年後見制度の研修会（9月20日）へ参加しました。	社会福祉協議会						
	無料法律相談、心配ごと相談を実施します。	法律・心配ごと相談所の開設（毎週火曜日）をしました。（あごら） 延べ42回実施 / 相談件数181件	社会福祉協議会						
	各専門団体との連絡調整に努めます。	介護・高齢者支援課主催の講演会に参加しました。 ワンストップ糸島（弁護士、司法書士、税理士、行政書士、社会保険労務士）との協議を行い、大牟田市の司法書士事務所へ視察研修を行いました。また、市民主催による成年後見、権利擁護の定例会（2月に1回）に参加し、情報共有を図りました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
19.地域包括ケアシステムの推進	「医療」「介護」「見守り・生活支援」「介護予防」「住まい」、それぞれの分野を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの基盤を構築します。	糸島市高齢者保健・福祉事業運営協議会を3回/年開催し、協議を行いました。	介護・高齢者支援課	地域包括ケアシステムの構築	未構築	構築	構築	構築	構築
	地域包括ケアシステムの基盤を構築するため、ネットワーク運営会議と各分野ごとの推進会議を設置します。	日常生活圏域ごとの地域課題を検討する地域ケア会議を各センターで開催しました。	介護・高齢者支援課						
	地域包括ケアシステムの構築・運営を図ります。	生活支援体制整備事業を受託し以下のとおり実施しました。 生活支援体制整備推進研究会（第1層協議体）の設置、運営 地域ささえあいサポーター養成講座・地域ささえあい推進員養成講座開催 社会資源の整理 「糸島市の生活支援 社会資源BOOK」の作成 地域包括支援センターとの連携・協力体制の構築 校区社協や民生児童委員・福祉委員など地縁組織との連携、啓発活動	社会福祉協議会						
	市と協働し、各推進会議の運営を支援します。	ひとり暮らし高齢者見守り推進会議は未実施であるが、生活支援整備体制事業が開始され、所管課との定例会議9回、研究会年5回開催しました。	社会福祉協議会						
20.糸島市あんしん見守り推進会議の運営・推進	「糸島市あんしん見守り推進会議」を開催します。	各地域包括支援センターにおいて、地域ケア会議を毎週実施し、見守り等の支援が必要な人への支援を検討しました。	介護・高齢者支援課	孤立死	14件	16件	32件	25件	0件
	各種情報の提供及び市民への周知などにより協力者・団体を拡大していきます。	見守り啓発のため、見守り協力事業者にのぼり旗を配布しました。	介護・高齢者支援課						
	孤立死や虐待情報（疑わしいものを含む）に適切に対応します。	孤立死について、安否確認が取れない方については、地域包括支援センターと連携しながら対応しました。 虐待に関する通報が31件ありました。市と地域包括支援センターが通報窓口となっていますが、通報の際は複数人で確認し適切に対応しています。	介護・高齢者支援課						
	関係機関との連携・調整及び見守り活動充実のための環境整備に努めます。	毎月1回地域包括支援センター事務局会議及び専門職毎の三職種部会を開催し、各地域包括支援センターの情報共有及びレベルアップを図りました。	介護・高齢者支援課						
	地域の見守り活動（地域や団体）を支援します。	校区社協や小地域ネットワーク福祉会、民生委員、福祉委員、ボランティア団体などと連携し、見守り活動を推進しました。 師吉行政区で見守り隊の結成に向けて、役員会、組長会議、見守り隊会議で説明を行いました。（見守り隊の設置 月1回訪問）	社会福祉協議会						
	支援が必要な高齢者等へ、迅速に情報提供します。	見守り活動を通じて、支援を必要とする方から相談があった場合には、各圏域の地域包括支援センターと連携し情報の提供等に努めました。	社会福祉協議会						
	孤立死や虐待情報（疑わしいものを含む）に適切に対応します。	虐待の疑い等で相談があった場合には、市と包括と連携し対応しました。	社会福祉協議会						
	関係機関との連携・調整及び見守り活動充実のための環境整備に努めます。	各圏域の地域ケア会議に出席し、情報提供・情報共有に努め、見守り活動充実のための環境整備に努めました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
21.高齢者虐待防止対策の推進	市民、地域、地域包括支援センター等に向けて、高齢者虐待に関する情報を発信し、併せて、相談や通報をしやすい体制をつくります。	広報やリーフレットに地域包括支援センターの業務内容を掲載しました。また、地域包括支援センターにおいて虐待に関する相談にも対応しました。	介護・高齢者支援課	虐待の相談・通報件数	25	23	26	31	30
	地域包括支援センターと協働で対応マニュアルを見直し、関係施設等と共有していきます。	養護者に係る高齢者虐待対応マニュアルを見直しました。引き続き養介護施設における高齢者虐待対応マニュアルの見直しを行います。	介護・高齢者支援課						
	高齢者の総合相談窓口となっている地域包括支援センター等が抱えている処遇困難事例から、虐待リスクが高いものに対しケース会議等を行い、虐待リスクの軽減に努めます。	地域包括支援センターの職員と連携を図りケース会議を行い、必要に応じて関係機関との連絡調整を行いました。	介護・高齢者支援課						
	虐待を受けた高齢者及び養護者に対する適切な支援を行うために、関係機関との連携・協力体制の整備を図ります。	虐待の通報を受けた場合は、地域包括支援センターと連携を図り協力体制を整えました。	介護・高齢者支援課						
	地域包括支援センターにおいて高齢者の虐待に関する相談を受けた場合、市に通報するとともに、早期対応・早期支援に努めます。	虐待の疑いの連絡を受けた場合は、市と連携して訪問し事実確認を行うと共に状況把握に努めました。結果的に疑い程度だったため、継続的に見守りを行いました。（前原東圏域 実件数7件）	社会福祉協議会						
22.障がい者虐待防止対策の推進	障がい者虐待防止対策委員会に委員として、警察、障がい者家族、保健福祉事務所、障がい者施設関係者、民生委員、社会福祉協議会に参加要請をし、虐待防止ネットワーク会議を開催します。	虐待通報を受けて、7月、8月（2回）、3月の計4回、障がい者虐待防止対策委員会を開催し、通報後の対応及び防止策について協議を行いました。	福祉支援課	障がい者虐待防止ネットワーク会議開催数	1回	1回	1回	4回	2回
	障がい者虐待通報専用電話を設置し、休日や夜間の通報に対応します。	費用対効果の面から、H26年度末で通報専用電話を廃止しました。休日・夜間の通報については、庁舎管理人室で受け、福祉支援課で対応しました。	福祉支援課						
	被虐待者を緊急に一時保護できるように、福祉施設の事業者に委託します。	市内施設7カ所、市外1カ所の施設に緊急一時保護の委託をしています。H28年度は、2件保護を行いました。	福祉支援課						
	被虐待者及び養護者への専門家によるカウンセリングを実施します。	該当はありませんでした。	福祉支援課						
	障がい者の虐待が発生した場合、状況に応じて弁護士・社会福祉士虐待対応チームを派遣します。	弁護士・社会福祉士虐待対応チームの派遣契約をしていますが、H28年度の派遣はありませんでした。	福祉支援課						
	パンフレットの配布等、障がい者虐待防止を啓発する活動を行います。	広報いとしま8月1日号で、障がい者に対する虐待防止の啓発と相談・通報先の周知を行いました。	福祉支援課						
	障がい者相談支援センターにおいて障がい者の虐待に関する相談を受けて、市に通報するとともに早期対応・早期支援を行います。	事業所より虐待の疑いの報告を受け、市及び事業所とセンターで協議をして訪問を行い、事実確認をして継続的に見守りを行いました。（実件数2件）	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
23.児童虐待防止対策の推進	子育てに関する相談・支援を強化し、保護者の悩みや不安の解消を図ります。	正職員3名（係長職1名兼務）、嘱託2名を配置しました。 相談対応件数 3,700件	子ども課	要保護児童ネットワーク会議の開催回数	53回	48回	47回	46回	53回
	子育て中の保護者に、子育て支援センターなどの利用を積極的に勧め、孤立の予防を図ります。	こんにちは赤ちゃん訪問等で、子育て支援センター事業の案内を行い利用を促しています。	子ども課						
	糸島市要保護児童対策ネットワーク会議を定期開催し、虐待の早期発見・早期対応に努めます。	要保護児童虐待協議会代表者会議（5月16日）を開催しました。（年1回） ネットワーク会議を開催しました。（年46回） 個別ケース会議を開催しました。（年152回）	子ども課						
	虐待に関する相談・通報受付窓口の周知を図ります。	児童虐待予防月間に合わせ広報いとしまに掲載しました。 リーフレットの窓口設置や健康情報誌に掲載しました。 広報いとしまにて相談・通報窓口を周知しました。	子ども課						
	虐待のリスクを早期に発見し、早期に対応するため、母親の妊娠期から子どもの乳幼児期を通じ継続的な関わりを続けます。	要保護児童ネットワーク会議「すこやか部会」を毎月1回開催し、こんにちは赤ちゃん事業との連携や未就園児の状況把握を継続的に実施しました。	子ども課						
	母子保健事業やこんにちは赤ちゃん事業との連携に努めます。	特定妊婦（妊娠中から家庭環境におけるハイリスク要因を特定できる妊婦）の情報交換や、要保護児童ネットワーク会議「すこやか部会」を毎月1回実施し、こんにちは赤ちゃん事業との連携や未就園児の状況把握を継続的に実施しました。	子ども課	個別ケース会議実施回数	68回	105回	132回	152回	60回以上
	児童虐待に関する支援の向上を図るために、主任児童委員などに対して、研修会を開催します。	前原地区及び志摩地区民生委員児童委員協議会児童母子福祉部会を対象に、子ども課講師で講座を実施しました。 要保護児童対策協議会ネットワーク研修会（テーマは「子どもの心の傷に気づいていますか」）を実施しました。	子ども課						
	特定妊婦を支援します。	特定妊婦（妊娠中から家庭環境におけるハイリスク要因を特定できる妊婦）として2人に対し、助産制度の案内等の支援を行いました。	子ども課						
	広報やポスターによる啓発を行います。	11月の児童虐待予防推進月間に広報へ記事の掲載を行いました。 各学校・保育園等の機関・行政区にポスター掲示を依頼しました。 人権・男女共同参画推進課と合同で街頭啓発活動を実施しました。	子ども課						
	民生委員や福祉委員等の福祉関係者、また、サロンや校区社会福祉協議会学習会・研修会等で幅広い地域住民への周知活動を行います。	各地区民生委員児童委員協議会定例会で、主任児童委員からの報告による周知を行いました。 各地区の民生委員児童委員協議会児童母子福祉部会で学習会を開催しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
24.自殺予防対策の推進	医療機関や保健福祉事務所等との連携を強化します。	糸島保健福祉事務所と共同で自殺防止キャンペーンを実施し、9月に市内スーパーで800枚、3月に筑前前原駅で500枚、配布啓発チラシとグッズを配布しました。	福祉支援課	ゲートキーパー研修会等の参加者数	156人	1,012人	1,111人	402人	500人
	「こころの相談」を実施します。	こころの相談は、H26年度で終了しました。	福祉支援課						
	市や各相談支援センターで相談を受けます。	市内3か所の障がい者相談支援センターで相談を受けています。	福祉支援課						
	自殺予防の啓発パンフレット等を使い啓発に努めます。	9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間に合わせた取組として、広報・ホームページで啓発を行いました。 また、糸島保健福祉事務所とチラシ「こころの健康大切にしていますか」を共同で2,000部作成し、心の悩み、法律相談等に関する相談機関の情報提供を行いました。	福祉支援課						
	研修会・講演会等を開催し、ゲートキーパーを養成します。	9月に糸島保健福祉事務所と自殺対策研修会を開催しました。警察、消防、救急にも参加を呼びかけ28人の参加がありました。自殺未遂者に対する支援に焦点を当てたもので、ゲートキーパーとしての役割について理解を深めました。 3月に「アルコールとこころの健康」をテーマとした講座と相談会が糸島保健福祉事務所で開催され、市民、支援者を中心とした25名の参加があり、アルコール依存症回復者の体験談、医療機関からの講義や相談会等、アルコールに関する問題について理解を深めました。	福祉支援課						
	保健福祉事務所と連携し、自殺予防に努めます。	糸島保健福祉事務所、医療機関、精神障がい者通所事業所等で構成される、精神障害者ケース検討会議に月1回参加し、関係機関の連携を深めました。	福祉支援課						
	自殺予防の啓発・周知に協力します。	糸島保健福祉事務所と共に、スーパーや駅で自殺予防啓発チラシを市民に配布し、市民周知に努めました。1回(3月)	社会福祉協議会						
25.認知症サポーターの育成とSOSシステムの強化	キャラバン・メイトのスキルアップや活動を円滑にするための連絡・情報提供など、「糸島市認知症キャラバン・メイト連絡会」の活動を支援します。	キャラバン・メイトを対象とした研修を4回開催し、スキルアップを図りました。	介護・高齢者支援課	認知症サポーターの人数	1,908人	2,761人	4,018人	5,769人	5,000人
	認知症サポーター養成講座の開催による認知症サポーターの増員、市民に対する広報活動、ボランティアやNPOの育成など、認知症の人とその家族を支援する意識を醸成します。	認知症サポーター養成講座を46回(受講1,751人)行いました。また、認知症カフェを6か所に増やし、認知症の人とその家族を支援する体制を強化しました。	介護・高齢者支援課						
	マニュアル検証と模擬訓練の実施により、SOSシステムの発動体制及び関係機関の連携の確認を行います。	前原校区社協主導による徘徊高齢者等声かけ訓練を実施しました。訓練の実施にあたっては、糸島警察署、糸島市社協、前原西地域包括支援センター等が協力し、関係者間の連携について、確認しました。	介護・高齢者支援課						
	SOSシステムを市民へ周知し、市民の協力体制を醸成します。	他の高齢者福祉サービスと併せて、周知を図りました。H29年3月末現在、SOSシステムの登録者数は166人(対前年度比51人増)に増えました。	介護・高齢者支援課						
	認知症サポーター講座の全職員研修を実施します。	市職員に対する認知症サポーター養成講座を実施し、434人が受講しました。	介護・高齢者支援課						
	地域の見守り活動などから提供される情報により認知症が疑われる人について、SOS会員登録を推進します。	徘徊の症状がみられる方、認知症が疑われる方について、糸島警察署の協力も得て、地域包括支援センターより代行申請を行い、SOS会員登録の推進を図りました。H29年3月末現在、SOSシステムの登録者数は166人(対前年度比51人増)に増えました。	介護・高齢者支援課						
	キャラバン・メイトと連携し、認知症サポーター養成研修を行います。	認知症サポーター養成講座を46回(受講1,751人)行いました。9校の小・中・高等学校で認知症サポーター養成講座を行い、750人が受講しました。	介護・高齢者支援課						
	糸島市認知症キャラバン・メイト連絡会の活動を支援します。	市の委託事業である家庭介護者研修会で開催しました。 地域包括支援センターによるボランティア講座で開催しました。 その他、校区社協や民生委員会で依頼があった場合に介護・高齢者支援課を紹介しました。	社会福祉協議会						
	SOS(徘徊による行方不明者)発生時の情報収集・提供と捜索活動の支援を行います。	各事業所へFAXを送信して事務所に掲示し、後方支援を実施しました。 警察・消防署・行政などで組織する「糸島市高齢者SOSシステム」による捜索訓練(年1回)に参加しました。 前原校区社協で認知症声掛け・捜索訓練にオブザーバーとして参加しました。 また、学習会の講師、視察研修の調整、訓練内容等の原案作成を行いました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
26.災害ボランティアセンターの体制づくり	ボランティア団体や市民活動団体との調整・連携を行うネットワークの構築を図ります。	未実施	福祉支援課	ネットワークの構築	未構築	未構築	未構築	未構築	構築
	災害時に適切かつ迅速に対応できるよう、計画的な訓練等、日頃から高い意識を持って取り組みます。	庁内での避難訓練を行いました。	福祉支援課						
	災害時要援護者支援台帳の整備とともに災害ボランティアセンターについても浸透するよう広報活動に努めます。	災害時要援護者支援の取り組みでは、6,731人（H29年3月末現在）の避難支援情報をネットワーク支援台帳へ登録しています。 熊本地震では、市の支援物資収集の窓口へボランティア派遣、社協による災害義援金と活動支援金の募集、あごらに情報コーナーを設置し市民への周知を図りました。また、6月15日、16日に益城町災害ボランティアセンターまでのボランティアバス運行を行い、糸島青年会議所、市内福祉施設他、一般市民延べ73人とボランティア活動を行いました。	社会福祉協議会	災害ボランティアセンター設置・運営訓練	未実施	実施	実施	実施	実施
	災害ボランティアセンター職員対応マニュアルに沿って、計画的に訓練することによって、災害時に適切かつ迅速に対応できるよう日頃から高い意識を持って取り組みます。	災害ボランティアセンター設置訓練（9月16日）を実施しました。今回から糸島青年会議所のメンバーも参加し、社協職員25人と一緒に実施しました。糸島青年会議所と災害時協力協定の締結をしました。	社会福祉協議会						
27.福祉避難所の設置及び充実	市民、地域、団体等と連携をとり、避難訓練を実施します。	未実施	福祉支援課 介護・高齢者支援課 危機管理課	福祉避難所設置訓練	未実施	未実施	未実施	未実施	実施
	施設に協力を依頼し、福祉避難所協定施設を増やします。	未実施	福祉支援課 介護・高齢者支援課 危機管理課						
	災害時にスムーズに福祉避難所を開所するため、設置運営訓練を行います。	未実施	福祉支援課 介護・高齢者支援課 危機管理課						
	迅速な情報提供や連携のためのネットワークを強化します。	未実施	福祉支援課 介護・高齢者支援課 危機管理課						
	社会福祉協議会、福祉避難所と連携して福祉避難所運営マニュアルを作成します。	8月に福祉避難所運営マニュアルを作成しました。（危機管理課）	福祉支援課 介護・高齢者支援課 危機管理課	福祉避難所運営マニュアルの作成	未作成	未作成	作成	作成	作成
	市、福祉避難所と連携して、福祉避難所運営マニュアルを作成します。	福祉避難所運営マニュアルのフローチャート図の作成に協力しました。	社会福祉協議会						
	福祉避難所と指定避難所の連絡調整を行います。	災害が発生していないため、連絡調整は未実施です。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
28.地域福祉に関する 情報発信の充実	広報紙やホームページに加え、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワークサービスを活用し、広く情報を提供します。	4月に熊本地震に関する情報及び5月に民生委員・児童委員に関する記事をフェイスブックに掲載しました。	福祉支援課 秘書広報課	情報啓発ツールの 作成	未作成	未作成	未作成	未作成	作成
	高齢者や障がい者等にもわかりやすい情報を提供します。	障がい者福祉のしおりを更新しました。	福祉支援課						
	福祉サービス等についてのパンフレットを作成します。	サービス提供事業所の開所や変更等に対応し、「障害者福祉のしおり」の事業所欄を最新版に更新しました。	福祉支援課						
	出前講座等の開催による情報提供を行います。	出前講座を2回開催し、障害福祉の制度についての説明を行いました。	福祉支援課						
	社会福祉協議会と連携して、普段の生活で“見える使える情報啓発ツール”を作成します。	未実施	福祉支援課						
	広報紙をはじめ、メール配信やツイッターなどのソーシャルネットワークサービスを活用し、広く情報を提供します。	社協広報紙（年6回）や社協HPで紹介しました。 SNSでは、フェイスブックで社協イベントの告知や状況の掲載しました。	社会福祉協議会						
	社会福祉協議会ボランティア連絡協議会の加盟団体の活動や個人ボランティアの活動について、年2回広報紙を発行します。	年6回発行する社協広報紙で、活動を紹介しました。	社会福祉協議会						
	出前講座等の開催による情報提供を行います。	社協として6講座を企画し、年7回派遣しました。 （受講者数延べ188人）	社会福祉協議会						
	市・学校その他関係機関と連携し、ボランティア講座、福祉講座などの学習機会やボランティア活動体験の機会を提供します。	校長会で公募し小学5・6年生を対象に福祉体験スクールを開催しました。 ボランティア・福祉祭りのボランティアを3高校（舞鶴、糸島、糸農）に依頼し、22人（舞鶴16人、糸島6人）の参加がありました。	社会福祉協議会						
	市と連携して、普段の生活で“見える使える情報啓発ツール”を作成します。	未実施	社会福祉協議会						
	ワークショップやサロン等で、福祉情報を提供すると同時に伝達情報を確認して、情報発信の充実に努めます。	ワークショップでの発信や25サロンへ職員を派遣した際に情報発信を行いました。	社会福祉協議会						
	情報が届きにくい人に情報を伝える仕組みを作ります。	地域での出前講座やサロンでの情報発信を継続的に実施しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
29.障がい者への情報提供の充実	市民が気持ちよく相談し、情報提供を受けられる窓口の体制を構築します。	エレベーター、スロープ、多目的トイレの設置および聴覚障がい者国内シンボルマーク「耳マーク」、筆談用ボードの設置をしています。 すべての校区公民館に身体障がい者用トイレを完備しています。	全庁	広報「いとしま」での障がい福祉サービス情報提供	未実施	実施	実施	実施	実施
	「障がい者福祉のしおり」を毎年更新し、最新の情報提供を行います。	制度改正分や新規設置事業所を踏まえた最新版に更新しました。	福祉支援課						
	制度改正や障がい福祉サービスの情報を広報紙やホームページで提供します。	制度改正に対応して、障がい者福祉のしおりを最新版に更新するとともに、市ホームページで障害福祉サービスについて掲載し、制度の周知を行いました。	福祉支援課						
	市役所福祉支援課職員の研修を行い、窓口相談対応能力の向上を推進します。	福祉支援課係会議において、各種手続の際の窓口対応についての研修を実施しました。	福祉支援課						
	視覚障がい者へ届ける、広報紙の情報保障活動を支援します。	視覚障がい者の困りごとに気づき、理解に繋げることを目的としてパンフレットを1,000部作成しました。市役所内の各窓口、郵便局、駅、社会福祉協議会等に配付・設置しました。	福祉支援課						
	広報紙、ホームページを通じ各種情報の発信を行います。	広報誌社協だより「みんなのふくし」を年6回偶数月に発行（全戸配布）HPにも掲載しました。	社会福祉協議会						
	ボランティアによる障がい者支援活動・情報保障活動を支援します。	ボランティア連絡協議会障がい者部会所属団体（糸島手話の会、要約筆記の会、朗読ボランティア）への助成・支援を行いました。 ボランティア連絡協議会障がい者部会や市内の企業と協働して、糸島福祉機器展“フクテク”を開催しました。	社会福祉協議会						

糸島市地域福祉計画・地域福祉活動計画 平成28年度事業実績報告

実施項目	取り組み内容	H28年度実績	担当課	指 標	H25	H26	H27	H28	H30
30.地域の福祉課題や福祉ニーズの把握	地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する市民を対象としたアンケートを実施します。	未実施 H29年度に実施予定	福祉支援課	ワークショップ 開催	3校区 実施	3校区 実施	3校区 (5か所) 実施	1校区 実施	15校区 完了
	地域や社会福祉協議会と協力し、ワークショップを開催します。	長系校区ワークショップ(参加者延べ76人) 第1回(1月19日)第2回(1月27日)	福祉支援課						
	ワークショップでまとめた実施結果を速やかに校区へ報告します。また、その内容については、校区社会福祉協議会活動に反映するように努めるとともに地域福祉計画・地域福祉活動計画の調査資料に盛り込みます。	校区社協、生活支援整備推進研究会で概要報告をしました。	福祉支援課						
	地域や市と協力し、ワークショップを開催します。	長系校区ワークショップ(参加者延べ76人) 第1回(1月19日)第2回(1月27日)	社会福祉協議会						
	参加しやすく、わかりやすい、楽しくできる研修プログラムを研究します。	ワークショップの手法を用いて、ワールドカフェやバザール方式、ワンワード等の工夫をしています。 福祉教育では、アニメなども用いたほか、障がいがある職員を派遣しました。	社会福祉協議会						
	ワークショップでまとめた実施結果を速やかに校区へ報告します。また、その内容については、校区社会福祉協議会活動に反映するように努めるとともに地域福祉計画・地域福祉活動計画の調査資料に盛り込みます。	校区社協、生活支援整備推進研究会で概要報告をしました。	社会福祉協議会						